

エー・ディー・ワークスの不動産小口化商品、

「ARISTO 青山II」及び「ARISTO 札幌」が好評裡に完売

～大手地方銀行との業務提携により、小口化事業のさらなる拡大を目指す～

株式会社ADワークスグループ[○]（所在地：東京都千代田区、代表者：代表取締役社長 CEO 田中秀夫、以下「ADWG」）の子会社で、収益不動産ソリューション事業の中核をなす株式会社エー・ディー・ワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木俊也、以下「ADW」）は、不動産小口化商品「ARISTO」シリーズの第10弾「ARISTO 青山II」（販売総額：17.7億円）及び第11弾「ARISTO 札幌」（販売総額：7.77億円）の2物件を完売し、3月29日付で運用開始いたしました。

また、不動産小口化商品の販売促進を目的として、このほど大手地方銀行と業務提携を開始したことをお知らせいたします。

当社グループは2024年2月8日付「第2次中期経営計画（2024年12月期～2026年12月期）」の重点施策の1つに「不動産小口化事業の拡大」を掲げており、今後も営業体制の強化と販売ペースの拡大を図ってまいります。

1. 不動産小口化事業の拡大

不動産小口化商品の市場規模は年々拡大し、2014年時点の65億円から2022年には437億円と、約6.7倍（※）に達しています。

ADWは、2018年より商品供給を開始し、2023年に約50億円を販売、2024年には約80億円の販売を予定しています。この度3月29日付で第10号商品「ARISTO 青山II」（販売総額17.7億円）、第11号商品「ARISTO 札幌」（販売総額7.77億円）を完売したことで、当第1四半期の販売額が25.47億円となり、販売目標に向け順調に進捗しています。また両商品の運用開始に伴い、シリーズ累計運用総額164億円超、累計投資家数は延べ1,000名超へと拡大いたしました。

不動産小口化事業は、当社の主力事業である国内一棟収益不動産事業と親和性が高く、仕入力を活かした良質な商品供給が可能のため、当社は後発に参入しながらも多くの投資家様よりご好評いただいております。「ARISTO 青山II」「ARISTO 札幌」ともに想定より早期に完売したことを受け、このほど、過去最大となる販売総額40億円の第12号商品「ARISTO 広尾」の販売を開始し、順調に進行中です。

（※）国土交通省「不動産証券化の実態調査」より引用。不動産特定共同事業法任意組合理型不動産小口化商品のみ。信託受益権型不動産小口化商品は含まない。



第10号商品【ARISTO 青山II】

第11号商品【ARISTO 札幌】

第12号商品【ARISTO 広尾】

2. 大手地方銀行と業務提携を開始

不動産小口化商品の販売ペースの拡大を企図して、ADW はこれまでに、投資家の「資産関連パートナー」である金融機関や税理士等との提携を構築・強化してまいりましたが、このほど、大手地方銀行と顧客紹介に関する業務提携を開始いたしました。

現時点で 479 社超のパートナー（内、金融機関は 40 社）と連携しておりますが、今回の大手地方銀行との提携開始を契機として、金融機関との提携をよりいっそう拡充してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ：株式会社 AD ワークスグループ 広報・IR 部
E-mail : pr@re-adworks.com